



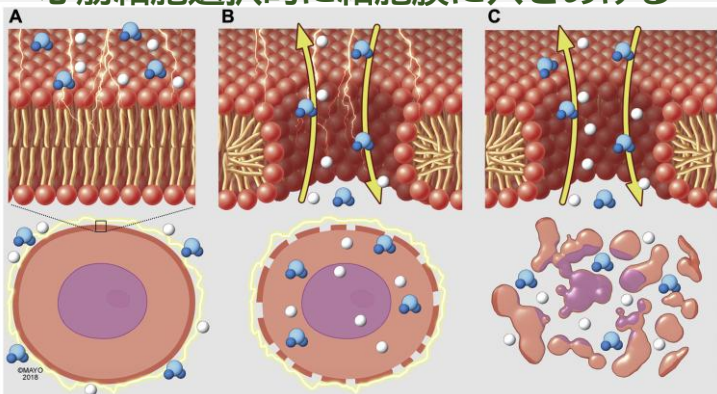
Topics ～循環器診療に役立つ、最新の話～

パルスフィールドアブレーション：心房細動の新しい治療法

心房細動に対するカテーテルアブレーションの新しい手法として、パルスフィールドアブレーションが2024年11月に本邦でも使用可能となりました。

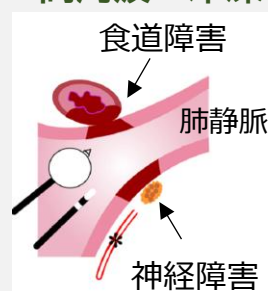
パルスフィールドアブレーションは、高電圧のパルス電流により心筋の細胞膜に穴を開けて細胞を死に至らしめる治療です。この治療の大きな特徴は、心筋に選択的に作用する一方で、心臓に隣接する食道、胃迷走神経、横隔神経への障害が極めて少ない点です。従来の熱や冷凍によるアブレーションでは、周囲組織への損傷が問題となることがありましたが、パルスフィールドアブレーションではそのリスクが大幅に減少します。また、熱・冷凍では長期的に肺静脈狭窄をきたすことがあります。パルスフィールドアブレーションではそのようなことはまずありません。このように安全性が高い上、熱・冷凍アブレーションと同等かそれ以上の有効性が示されています。一方、パルスフィールドアブレーションは通電時に不随意的筋収縮や咳込みが生じやすいため、十分な鎮静または全身麻酔が必要です。

当院では麻酔科医による全身麻酔下で120人以上の患者様に対して施行し、既報と同等もしくはそれ以上の安全性・有効性を確認しています。

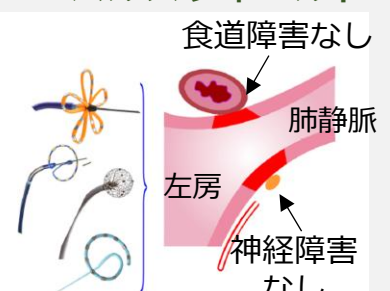
パルスフィールドアブレーションの原理
心筋細胞選択的に細胞膜に穴をあける

HeartRhyth 2019;16:1112-1120

高周波・冷凍



パルスフィールド



Biomedicines 2024;12: 2232

文責 宮内 靖史

スタッフ紹介 Vol.38



今野 久美子

慢性心不全看護
認定看護師

皆さまは『認定看護師』の存在をご存じでしょうか？現在19の分野がありますので、身近な認定看護師を探してみてください♪私の専門は心不全です。旅が大好きで行きたい所リストが増え続けています。10月の心不全学会は鳥取県米子市で開催されますが、鳥取県へは初上陸で全国制覇が達成出来るのでとても楽しみです。

